

# ふれあい灘

令和：5年3月20日 第42号  
 発行：灘ふれあいのまちづくり協議会  
 委員長 伊集院 定義  
 編集：広報部会  
 題字：橘 香陽



参加当時、幼かったお子さんの成長ぶりを見聞きする時は、ほんとうに幸せな気分になります。



活動を灘区長さんが見学

子育てサークル「マリinkinキッズ」は、第四金曜日の午前中灘地域福祉センターで実施しています。0才から就園前のお子さんと保護者が集まり、親子遊びや工作をする中で情報交換をし、仲間づくりをしています。サークルの運営は、お母さん達が中心となり、活動内容を考え、計画、準備、実行していきます。メンバー全員で協力しながら楽しく活動しているアットホームなサークルです。平成十四年に発足。二十三組の親子でスタートしました。サークルが出来てから二十一年になります。

マリinkinキッズの活動  
 河原地区主任児童委員  
 門之園 都容子

成人式を迎えたとか、社会人になったという報告をもらってもあります。お母さんも時間に余裕ができたからと、ボランティア活動に参加していると伺ったり、マリinkinキッズでボランティアをしてくださってる方もいらっしゃって、とても嬉しく思います。これまで「やってみよう活動ができない」、「参加者が少ない」、「代表のなり手がいない」などその時々悩みながら、地域の方々ははじめたくさんの方々に支えられたからこそ、続けてこられたと感謝しています。



みんなで節分工作

ていきましたが、関心のある人にライン登録してもらい、オープンチャットで予約する方法に変更しました。感染予防の為に人数制限をすることで参加者は急な欠席も知らせてくれ、キャンセル待ちの人が参加希望を申し出てくれます。参加者の状況把握と人数確認ができ、安心して活動ができるようになりました。もちろん、検温、消毒、密にならないよう配慮するなどの感染予防対策もしています。灘ふれあいのまちづくり協議会、主任児童委員が関わり、資金、活動場所の提供、手伝い、アドバイスなどの協力をしています。関心を持っていただけた方は、事前に連絡の上、ぜひ見学にお越しください。ボランティアについては、どの世代の方でも歓迎いたします。みんなでも達を見守りながらホッとできる時間を過ごしましょう。



青鬼さん完成

問合せ先  
 灘地域福祉センター  
 ☎ 八七一一六八三七

## このべの子ども会

神戸市子ども会連合会

### 第24回 絵画コンクール

去る1月29日、神戸市立総合福祉センターで、第24回神戸市子ども会連合会絵画コンクールの授賞式が行われました。河原子ども会の二組の姉妹四人が見事入賞し表彰されました。テーマは「ともだち」



神戸市子ども会連合会会長賞  
 〈グランプリ〉小原千佳 さん



#### 編集後記

地域活動が一番難しいのは、なんといっても続けることです。マリinkinキッズは、これまでも幾度となく解散の危機を乗り越え活動が継続されています。前リーダーの村上さんや歴代のリーダーの方々と、主任児童委員の門之園さん、滝井さんの努力のたまものです。灘ふれあいのまちづくり協議会は、当地域福祉センターを拠点とする「マリinkinキッズ」の活動を今後も支援していきます。(伊集院)



神戸市長賞 〈準グランプリ〉 川端風菜 さん



神戸市教育委員会教育長賞 小原千空 さん



神戸市子ども会連合会文化部長賞 川端彩水 さん



### 《社会を明るくする運動》

灘区保護司会 伊集院 定義

社会を明るくする運動は、法務省が主催する、犯罪をなくして社会を明るくするために、国民が犯罪の防止と犯罪者の矯正および更生保護についての正しい理解を深め、活動に協力するように国民によりかけける啓発活動をいいます。

法務省では、毎年七月を強化月間として啓発・周知を図っています。期間中は講演会・コンサート・作文コンテスト・弁論大会・街頭パレードなどのイベントが実施されます。

作文コンテストは、次世代を担う小・中学生に、家庭や学校の日常生活で、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする「社会を明るくする運動」への理解を深めてもらうために実施されるもので、昨年は第七十二回目となりました。

昨年の作文コンクールでは、灘区内の小学校からは、十二校の六年生616名が作文を寄せています。灘小学校からは29名が参加しました。



《作文のテーマ》  
日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことなどを題材としています。

### 《社会を明るくする運動参加作文》 ぼくらのすてきなまじこ

おおよま ひろこ  
灘小学校六年 大山 紘人

犯罪はどれだけががんばっても、なくすことはできないと思います。ですが、減らすことはできるのです。ぼくはその犯罪や非行を減らす方法を、考えてみました。

一、自分たちがしないためにどうしたら良いか。

犯罪は何も不自由がなく生活し、じゅうじつしている人は、犯しません。社会や家族、友達に、なんらかの不満や、つらいことがある人がいるから犯罪はおこるのです。ですがそれを全て取りのぞくのは不可能に近いです。なのでせめて自分の周りだけでも、犯罪が起らないようにしないと、いいかなと、思います。

例えば、もしかしたら自分の親が犯罪を犯すかもしれませ

ん。上司からむちやをいわれ、殺人をしようかもしれま



### 《社会を明るくする運動参加作文》

自分たちが犯罪・非行をしないために

うーるか  
灘小学校六年 呉 鷺佳

私は、犯罪や非行をしてしまう人たちは、どんな人が多いのか考えてみました。たとえば、強盗や万引きなどは、お金や心によゆうがない人が多いのではないのでしょうか。「お金がないなら、かりればいい。」と考えてかりても、返すおかねがないから、心によゆうがなくなっていくきます。これからのことを考えて、自分たちが、犯罪や非行をしないためには、この三つのことをやるといいと思います。

一つ目は、自分をほめてあげることです。心によゆうがない人は、「自分はダメな人」と感じていると思います。なので、自分のいいところをさがしほめると「自分はダメじゃない」と感じるようになります。二つ目は、人をたよることです。自分で決しようとしてしまつて、心にふたんが

ま



います。そんなとき、なまいきなことをいい、さらにおこらせるのか。おこらせないよう、そつとしておくのか。「気にしなくてもいいよ。」と、声をかけるのか。ぼくはそのちがいで、ささいなことかもしれないけれど、その人の気持ちは変わると思います。

二、犯罪を犯してしまった人に対して。

犯罪を一度犯してしまうと、本当に大変だろうなど、思います。本当にそのいっしゆんだけ、冷静ではなくなってしまうただけで・・・そう思います。一度犯罪を犯してしまつと、その事実は一生涯変わりません。一生つきまといてきます。それによりしゅう職ができなかつたり、周りのひとから白い目でみられ、態度を変えられるかもしれない。そんなこと自分におきれば、それこそ犯罪を犯してしまうかもしれませ

ん。もし周りに犯罪を犯してしまつた人がいるなら、一度その人の気持ちになつてかんがえ、やさしい言葉をかけたり、寄りそつてあげるのがぼくたちのつとめだと思



かり、犯罪や非行をしてしまうかもしれませ

ん。そうならないためには、人にたよるといいと思います。また、人にたよること

で、そのたよつた相手も、たよつてくれる

るかもしれませ

ん。たよつてくれることで、たよりやすくなり

ます。たよるけど、たよられず

ぎずを考えて、たよるといいと思

います。そうすると、心によゆうができて、犯罪や非行が少なくなると思

います。三つ目は、なにごとも、ポジティブにと

らえることです。心によゆうがない人は、考

えすぎてしまつて、だんだんネガティブになつて

きてしまつと思

います。だから、ポジティブにとらえることで、心によゆう

ができて、犯罪や非行をしないようになると思

います。この三つのほかに、心のよゆうを増やし、

犯罪や非行の数を減らすことができます。「自分

はだいじょうぶだ。」と思つていても、いつのまにか、

心によゆうがなくなつてしまつても

しません。そうならないために、

めにも、この三つのようなことを、日ごろから意

識して、犯罪や非行の数を減らしていけるとい

いな思

います。



### 《灘の町名》 その1

「將軍通」

「將軍通」、なんともクールな町名ではありませんか。將軍と言われれば源頼朝や徳川家康が授かつた「征夷大將軍」が浮かんできますが、私たちのまちの將軍の正体は？

この町名は、旧河原村の「大將軍」、「篠原端」、「藪の下」、「神ノ木」の四つの字(あざ)からなり、昭和六年九月に誕生しました。

大將軍は、陰陽道における牛頭(ごず)天皇の皇子で、方位の吉凶をつかさどる八将神(はっしょうじん)の一つです。(他に太歳、太陰、歳刑、歳破、歳殺、黄幡、豹尾の七神)太歳神の方位はその年の十二支の方位で最吉方となります。他の七神の方位はそれによって決まります。

大將軍は、俗に、三年塞(ふさ)がりといわれる凶神です。この悪神の方向は「嫁取り」、「転居」、「旅立ち」など一切だめなことから、村の人々は、この悪神を祀つて祟りをしないように祈つたとのこと

です。この地域には、かつて大將軍を祀る社あり、それが地名となったよう



出典 神戸の地名(神戸新聞社編)  
日本大百科全書ニッポニカ(小学館)